平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月30日

上場会社名　株式会社 魚力　　上場取引所　東
コード番号　7596　URL　http://www.uoriki.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 中田　雅明
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長　(氏名) 伊藤　忠彦　TEL 042-648-8868

四半期報告書提出予定日　平成25年8月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	6,409	8.1	327	55.5	439	129.5	174	46.1
25年3月期第1四半期	5,927	△4.6	210	6.7	191	4.2	119	19.8

(注)包括利益　26年3月期第1四半期　152百万円　(―%)　25年3月期第1四半期　△71百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	12.03	―
25年3月期第1四半期	8.16	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	15,624	13,017	83.2	903.83
25年3月期	16,170	13,416	82.9	918.90

(参考) 自己資本　26年3月期第1四半期　12,995百万円　25年3月期　13,400百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	0.00	―	20.00	20.00
26年3月期	―				
26年3月期(予想)		0.00	―	30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,000	4.5	450	116.8	550	171.4	300	124.4	20.79
通期	26,000	4.6	1,300	68.1	1,450	36.5	900	51.2	62.48

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 有
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無
(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	14,620,000 株	25年3月期	14,620,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	241,481 株	25年3月期	36,781 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	14,485,451 株	25年3月期1Q	14,619,819 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示
この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
(将来に関する記述等についてのご注意)
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報……２

（１）連結経営成績に関する説明……２
（２）連結財政状態に関する説明……３
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明……３

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項……３

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……３

３．四半期連結財務諸表……４

（１）四半期連結貸借対照表……４
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間……５
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間……６
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項……７
(継続企業の前提に関する注記)……７
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)……７
(セグメント情報等)……７

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間（平成25年４月１日～平成25年６月30日）におけるわが国経済は、新政権による経済政策の発動と、日銀による金融政策への期待感から株高・円安基調へと移行し、景気回復に向け一部で明るい兆しが見えてはいるものの、生鮮食品をはじめ食品全般の低価格志向や日常的支出への節約志向は根強く、個人消費全体を押し上げるまでには至っておりません。

また、水産業界におきましては、魚資源の枯渇化や海洋環境の変化に伴う漁獲高の減少、円安の進行による漁船の燃料である重油価格の高騰や輸入魚を中心とした魚価高の影響など、当社を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような環境の中、当社グループにおきましては、平成25年３月期から平成27年３月期までの“中期経営計画～「新生魚力」クリエーションプラン”を策定し、その２年目の経営目標として「改革の断行による新生魚力クリエーションプランの実現」を掲げ、「持続的成長企業への転換」と「社員の幸せの実現」に向けて、各事業分野における改革に継続して取り組んでまいりました。

これらの結果、当社グループの当第１四半期連結累計期間の業績は、売上高は64億９百万円（前年同期比8.1％増）、営業利益は３億27百万円（前年同期比55.5％増）、経常利益は４億39百万円（前年同期比129.5％増）となりましたが、特別損失に固定資産の減損損失２億41百万円を計上したため、四半期純利益は１億74百万円（前年同期比46.1％増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①小売事業

小売事業におきましては、既存店舗の売上高は、「ゴールデンウィークセール」や「母の日セール」、月末恒例の「魚力の日セール」などのイベントやハレの日については好調だったものの、局地的な大雨や台風並みの強風など天候不順の影響が大きく対前年同期比で2.4％の減少となりました。しかしながら、前期開店した店舗の増収効果により小売事業全体では対前年同期比8.1％の増加となりました。

一方で、店舗運営の改革については、生産性（１人当たり売上高）の改善に取り組み、店舗の作業のムダ・ムラ・ムリを徹底的に排除し作業効率を高めてまいりました。また、総労働時間の管理や残業管理を徹底することで人件費の適正化にも取り組んでまいりました。

更に、４月より八王子事業センターの配送業務や在庫管理業務を、外部業者へアウトソーシングすることで経費削減を図ってまいりました。

これらの施策の結果、売上高は51億77百万円（前年同期比8.1％増）、営業利益は３億22百万円（前年同期比34.7％増）となりました。

②飲食事業

飲食事業におきましては、外食業界の熾烈な出店競争や価格競争が恒常化する厳しい環境にある中、メニューの継続的な見直しや、小売事業と連動し“旬の魚”を中心とした販促企画の実施等により集客に努めたものの、売上高は対前年同期比で0.9％の減少となりました。

しかしながら、前期より取り組んでまいりました店舗運営体制の更なる見直しや、食材の見直しによる仕入原価の引き下げを更に進め、収益構造の改革に取り組んでまいりました。

これらの施策の結果、売上高は２億20百万円（前年同期比0.9％減）、営業利益は８百万円（前年同期比23.4％増）となりました。

③卸売事業

卸売事業におきましては、平成24年６月１日に会社分割（簡易新設分割）により設立し当社より卸売事業を承継した株式会社大田魚力は、大田市場を活用した配送網を武器に新規卸売先の開拓を進め、グループ内取引を除く売上高は４億84百万円、営業利益は８百万円となりました。

米国子会社ウオリキ・フレッシュ・インクは、日本食ブームを背景に、食品スーパーへの寿司ネタや寿司関連商材を中心に売上高を順調に伸ばし対前年同期比10.7％増の５億10百万円にまで拡大し、営業利益は39百万円を計上することができました。

これらの施策の結果、グループ全体の卸売事業の売上高は９億94百万円（前年同期比8.7％増）、営業利益は49百万円（前年同期比65.0％増）となりました。

なお、当第１四半期連結累計期間より、セグメント別の損益をより明確に表示するために、各事業セグメントに対する費用の配賦基準の見直しを行っております。この変更に伴い、前年同期のセグメント利益につきましても変更後の算定方法に組替えております。

（２）連結財政状態に関する説明

（資産）

当第１四半期連結会計期間末における流動資産は59億６百万円となり、前連結会計年度末に比べ２億86百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が２億１百万円減少したことによるものであります。固定資産は97億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ２億59百万円減少いたしました。これは主にソフトウエアが１億99百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、156億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ５億45百万円減少いたしました。

（負債）

当第１四半期連結会計期間末における流動負債は24億７百万円となり、前連結会計年度末に比べ１億38百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が１億87百万円減少したことによるものであります。固定負債は１億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ８百万円減少いたしました。これは主にデリバティブ債務が15百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、26億６百万円となり、前連結会計年度末に比べ１億47百万円減少いたしました。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末における純資産合計は130億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ３億98百万円減少いたしました。これは主に剰余金の配当２億91百万円及び自己株式の取得２億59百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は83.2％（前連結会計年度末は82.9％）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点において平成25年５月７日の「平成25年３月期　決算短信」で公表いたしました第２四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（荷造運賃及び包装用品費に関する会計処理方法の変更）

従来、店舗への商品配送に係る荷造運賃及び店舗で使用するトレー等の包装用品費は販売費及び一般管理費に計上しておりましたが、当第１四半期連結会計期間より売上原価として計上する方法に変更しております。

この変更は、当社グループの営業戦略・物流戦略の一環となる当社システム（受発注・オンライン請求）の全面的な入替を契機に、当社の発生費用の性格についてより精細な分析を行った結果、原油価格の高騰や商品の少量販売に伴うトレー使用量の増大等を理由として、これらに関連する諸経費の金額的重要性が増しているため、当社の売上原価と販売費及び一般管理費をより適正に表示するために行ったものです。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前連結会計年度及び前第１四半期連結累計期間については遡及適用後の連結財務諸表及び四半期連結財務諸表となっております。

これにより、遡及適用を行う前と比べて、前連結会計年度の連結貸借対照表において、流動資産の「商品及び製品」が5,725千円増加し、「原材料及び貯蔵品」が同額減少しております。

また、前第１四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、売上総利益が186,065千円減少しておりますが、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,613,229	3,477,320
受取手形及び売掛金	1,781,573	1,579,744
有価証券	20,000	40,000
商品及び製品	577,219	499,297
原材料及び貯蔵品	8,695	7,061
その他	203,625	310,224
貸倒引当金	△11,587	△7,610
流動資産合計	6,192,754	5,906,038
固定資産		
有形固定資産	2,350,048	2,281,021
無形固定資産	329,854	110,227
投資その他の資産		
投資有価証券	5,975,593	5,798,686
その他	1,322,154	1,528,467
投資その他の資産合計	7,297,747	7,327,154
固定資産合計	9,977,651	9,718,403
資産合計	16,170,406	15,624,441
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	841,037	905,382
未払法人税等	393,006	205,443
賞与引当金	210,974	276,837
その他	1,100,805	1,019,533
流動負債合計	2,545,823	2,407,196
固定負債		
退職給付引当金	112,816	119,214
その他	95,490	80,192
固定負債合計	208,306	199,407
負債合計	2,754,130	2,606,603
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,563,620	1,563,620
資本剰余金	1,441,946	1,441,946
利益剰余金	11,463,769	11,346,363
自己株式	△40,793	△300,038
株主資本合計	14,428,542	14,051,890
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,451	△87,399
土地再評価差額金	△1,039,645	△982,855
為替換算調整勘定	9,214	14,091
その他の包括利益累計額合計	△1,027,978	△1,056,163
少数株主持分	15,712	22,110
純資産合計	13,416,275	13,017,837
負債純資産合計	16,170,406	15,624,441

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	5,927,163	6,409,185
売上原価	3,678,022	3,960,047
売上総利益	2,249,141	2,449,137
販売費及び一般管理費	2,038,682	2,121,840
営業利益	210,459	327,297
営業外収益		
受取利息	10,145	39,979
受取配当金	9,696	9,669
不動産賃貸料	6,030	2,670
デリバティブ評価益	－	23,287
為替差益	－	29,270
その他	5,167	13,803
営業外収益合計	31,039	118,681
営業外費用		
持分法による投資損失	334	1,226
自己株式取得費用	－	1,936
不動産賃貸費用	3,314	3,102
デリバティブ評価損	12,240	－
為替差損	33,369	－
その他	623	－
営業外費用合計	49,880	6,265
経常利益	191,617	439,713
特別利益		
固定資産売却益	48	－
投資有価証券売却益	－	78,690
特別利益合計	48	78,690
特別損失		
固定資産売却損	152	－
固定資産除却損	27	12
減損損失	－	241,316
持分変動損失	1,336	－
特別損失合計	1,516	241,329
税金等調整前四半期純利益	190,150	277,075
法人税、住民税及び事業税	27,456	200,861
法人税等調整額	41,554	△103,613
法人税等合計	69,011	97,248
少数株主損益調整前四半期純利益	121,138	179,826
少数株主利益	1,827	5,569
四半期純利益	119,311	174,257

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	121,138	179,826
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△191,940	△89,851
土地再評価差額金	―	56,789
為替換算調整勘定	△836	5,706
その他の包括利益合計	△192,777	△27,355
四半期包括利益	△71,638	152,471
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△73,521	146,072
少数株主に係る四半期包括利益	1,883	6,398

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	小売事業	飲食事業	卸売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,789,728	222,496	914,939	5,927,163	－	5,927,163
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	22,646	22,646	△22,646	－
計	4,789,728	222,496	937,585	5,949,810	△22,646	5,927,163
セグメント利益	239,368	6,630	30,071	276,070	△65,611	210,459

（注）１．セグメント利益の調整額△65,611千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。その全社費用は、主に総務・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

３．当第１四半期連結累計期間より、セグメント利益の算定方法を変更したことに伴って、前第１四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年６月30日）のセグメント利益を変更後の算定方法に組替えております。これにより、従来の算定方法によった場合に比べて、小売事業において3,596千円セグメント利益が増加し、飲食事業において3,738千円セグメント利益が減少し、卸売事業において142千円セグメント利益が増加しております。算定方法の変更内容につきましては、「Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自平成25年４月１日　至平成25年６月30日）　３．報告セグメントの変更等に関する事項」をご覧下さい。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計
	小売事業	飲食事業	卸売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,177,724	220,413	994,715	6,392,854	16,331	6,409,185
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	9,002	9,002	4,650	13,652
計	5,177,724	220,413	1,003,718	6,401,856	20,981	6,422,838
セグメント利益	322,534	8,180	49,613	380,328	10,974	391,302

	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
売上高		
外部顧客への売上高	－	6,409,185
セグメント間の内部売上高又は振替高	△13,652	－
計	△13,652	6,409,185
セグメント利益	△64,005	327,297

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、テナント事業であります。

２．セグメント利益の調整額△64,005千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。その全社費用は、主に総務・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

（単位：千円）

	報告セグメント			その他	全社・消去	合計
	小売事業	飲食事業	卸売事業			
減損損失	9,567	－	－	－	231,748	241,316

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

３．報告セグメントの変更等に関する事項

（報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更）

当第１四半期連結累計期間より、セグメント別の損益をより明確に表示するためにシステムの変更を実施いたしました。これにより、各事業セグメントに対する費用の配賦基準の見直しを行っております。

この変更に伴い、前年同期のセグメント利益につきましても変更後の算定方法に組替えております。組替え後の数値及び影響額につきましては、「Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年６月30日）　１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。